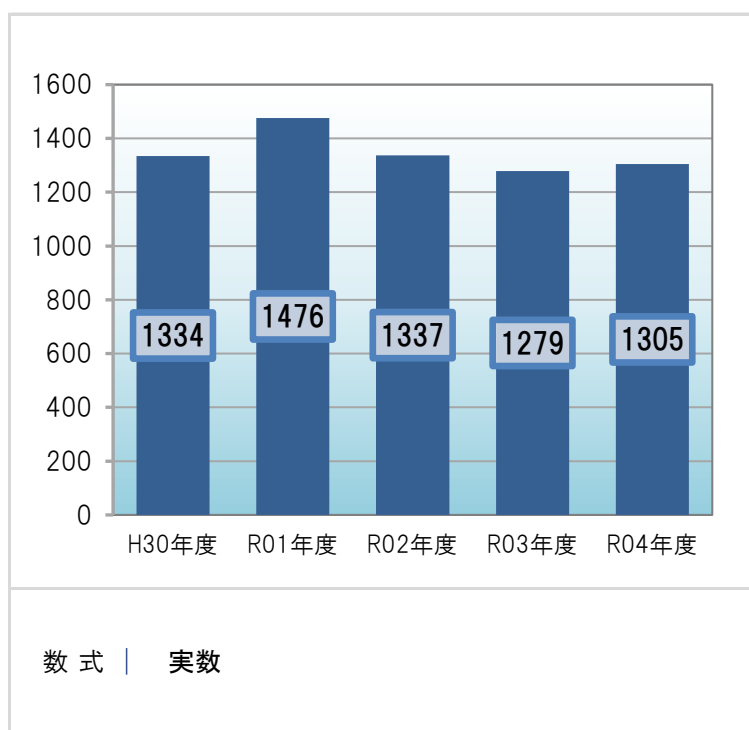


18 術中迅速病理組織診断件数

● 項目の解説

正確で迅速な病理診断は、手術中に悪性腫瘍などの病巣切除の適否または切除範囲を決定するために重要です。そのためには、限られた時間内に適正な標本作製する技術をもった臨床検査技師、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が必要となります。件数が増加するほど、これらの機能が充実していることを表現しています。

● 当院の実績



単 位 | 件数

期 間 | 年間

備考

令和4年度国立大学病院平均値
(100床あたり) 96.66件
(令和4年度当院 100床あたり 122.42件)

● 定 義

DPCデータを元に算出した、医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/O P)、N003-2 術中迅速細胞診」の算定件数です。